

地方創生加速化交付金に係る事業実施結果

| No | 事業名 | 目的・概要 | 担当課 | 予算額（円） | | 実績額（円） | | 重要業績評価指標(KPI) | | | 事業効果 | 外部有識者からの評価 | | 今後の方針 | |
|----|--|--|-------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|---|---|---------|--|---|-----------------|--|----------|--|
| | | | | 総額 | 内訳 | 総額 | 内訳 | 目標値 | 目標年月 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 方針 | 理由 |
| 1 | 世界に羽ばたけ！匠 の植木展開事業 | 本市の地域資源である植木を 活用し、植木を軸にした産業・観光 の振興を一体的に推進すること により、「匠の植木」の認知度向上 や販売拡大、外国人を含む交流 人口の増加を目指す。 具体的には、国外で開催される 国際博覧会の参加や、都市部の 公共交通施設（駅・空港）にお けるPRを通じて、外国人を含む多 くの人の対して情報を発信する。 加えて、植木を観光資源とした植 木めぐりツアー・まち歩きコース などの観光コンテンツ作成や、イン パウンド対策を視野に入れた外国 語表記の植木ガイドブック作成、 上記の植木めぐりツアー等の立 寄り所となる市内観光スポットに植 木見本園整備を行う。 | 産業振興課 | 13,000,000 | 【経費の内訳】 ①トルコ共和国アンタルヤでの 国際園芸博覧会の出展（海外PR） ・会場利用経費、植木の運搬 費、生産者の旅費等 7,000千円 ②交通拠点における植木の展 示及び情報発信（国内PR） ・会場利用経費 羽田空港 300千円 東京駅 800千円 ・植木の運搬費、生産者の旅費 等 羽田空港 20千円 東京駅 20千円 ③外国人向け植木PRガイドブ ック作成 ・内容作成、印刷製本費等 2,500千円 ④市内観光スポットにおける植 木見本園整備 ・植栽費等 2,000千円 ⑤植木めぐりツアーの試験実施 ・バス借り上げ代等 360千円 | 11,469,131 | 【経費の内訳】 ①トルコ共和国アンタルヤで の国際園芸博覧会の出展（海 外PR） 6,986,051円 ②交通拠点における植木の 展示及び情報発信（国内PR） 0円（未実施） ③外国人向け植木PRガイド ブック作成 2,484,000円 ④市内観光スポットにおける 植木見本園整備 1,999,080円 ⑤植木めぐりツアーの試験実 施 0円（未実施） | ①アンタルヤ国際 展示博覧会を契機 とした植木売買契 約締結数 1件 ②植木めぐりツ アー、まち歩きコ ースなど観光コン 텐츠の作成 2件（試験実施） ③植木めぐりツ アー、まち歩きコ ースなど観光コン 텐츠の参加者数 20人（試験実施） ④外国人を含む観 光客入込数（千葉 県観光入込調査報 告書） 10,200,000人 | 平成29年3月 | ①3件 ②2件（コース） ③0人 ④回答日現在で今 年度報告書は未発 表のため不明 | トルコに対する輸出につ いて、平成31年度末まで のKPI(2件)を既に達成 し、現在も継続的な引合 いがあるなど、想定以上 の成果を上げている。 また、多言語ガイドブック や植木見本園の整備、植 木めぐりコースの作成によ り、植木の観光資源化を 進展し、今後の観光部門 との連携の基礎・土台を 構築できた。 | 地方創生に効果が あった | 匠の植木の地域資源であ る植木を観光分野にも活 かすため、植木事業者と連 携し、植木組合の観光部 会を立ち上げてはどうか。 | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り 終了とする。引き続き植木 振興を図るべく、本事業で 得た成果を活用するととも に、観光など他分野・他業 種の連携を含めて多面的 な取組みを推進する。 |
| 2 | 匠 市版CCRC構 想策定等事業（飯倉 地区） | 本市飯倉地区に認定こども園・ 特別養護老人ホーム・サービ ス付高齢者住宅等を整備し、こ れらを核として、雇用と地域住 民と都市部からの移住者との交 流等による賑わいを増やすため の事業を検討する協議会を、事 業主体である社会福祉法人九 十九里ホームが設立する。こ れを運営する費用を支援する。 住民、金融機関、大学、福祉 などさまざまな分野から参画 する協議会にて策定した分野 横断的な事業計画を、事業主 体が推進することにより、雇 用の場を提供するとともに、 移住者と交流する環境を整備 することに資する。 | 企画課 | 5,500,000 | ①地区内のさまざまな分野の 地域特性と課題について、協 議会からコンサルタントへの 調査委託費。 ・事前調査外部委託費 1,000,000円 ②地域性と目的に即したまち づくりを行うための協議会運 営補助。 ・協議会運営・進行事務等外 部委託費 1,600,000円 ・住民参加ワークショップ開 催費 400,000円 ③協議会主催の、会員と研究 者・専門家との有識者等意見 交換会費用補助。 ・有識者招聘、意見交換会事 務費 1,000,000円 ④協議会会員による地方創 生事例の視察費用補助。 ・交通費等 500,000円 ⑤事業計画書類について、協 議会からコンサルタントへの 作成委託。 ・計画図面等の作成 1,000,000円 | 4,616,805 | ① ・事前調査外部委託費 1,000,000円 ② ・協議会運営・進行事務等外 部委託費 1,347,465円 ・住民参加ワークショップ開 催費 400,000円 ③ ・有識者招聘、意見交換会事 務費 658,554円 ④ ・交通費等 210,786円 ⑤ ・計画図面等の作成 1,000,000円 | ①事業計画書の作 成 ②協議会開催 12回 ③住民参加ワー クショップ開催 2回 ④有識者等意見 交換会 2回 | 平成29年3月 | ①作成済み ②12回 ③2回 ④2回 | 本事業を通して事業計 画案を作成したことによ り、本市におけるCCRC に係る取組の方向性を確 立することができた。ま た、事業計画案検討の中 で、本取組の周知、地域 住民等の理解や意見聴取 等を行うことができた。 なお、KPIについては全 て達成済みである。 | 地方創生に効果が あった | 飯倉駅前の賑わいを増 やすための方策を、十分に 検討する必要がある。 飯倉駅前等で、各種物販 を当番制で開催してはど うか。 時代のニーズに合った、 体験や食事等のコンテナ を充実させてはどうか。 | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り 終了とし、事業成果を後 継事業である「匠市版 生涯活躍のまち形成事 業」に活かし、さらに取 組を具体化・発展させて いく。 |
| 3 | さまざまな交通手段 の連携による県内観 光地へのアクセス強 化・観光プロモーション 事業 | 秋の観光シーズンに、成田空港 からの高速バスを運行し、潜在 的な需要を掘り起こすことで新 たな観光ルートとしての認知 度を高め、最終的には民間事 業者の参入を促して成田空港 利用客の県内観光地へのア クセス改善につなげる。具 体的には9月17日から10 月31日の期間、鴨川ルート と銚子ルートでそれぞれ運 行する。銚子ルートでは成 田市、香取市、銚子市、旭 市、匠市で周遊し、その うち匠市では、そうさ観 光物産センター一匹の里 及び飯高植林跡で停車す る。 | 産業振興課 | 65,285,000円 うち匠市分 (1,975,000円) | ①バス運行費 36,825,000円 ②運行付随業務費 15,960,000 円 ③広告宣伝費 10,000,000円 ④調査費 2,000,000円 ⑤運営管理費 500,000円 | 65,812,050円 うち匠市分 (1,800,519円) | ①バス運行費 34,875,000円 ②運行付随業務費 14,931,000円 ③広告宣伝費 8,964,000円 ④調査費 3,240,000円 ⑤運営管理費 1,477,894円 ⑥償還金、利子及び割引料 1,310,185円 ⑦運賃収入分還付 527,050 円 ⑧需用費等 486,921円 | ①降車人数 300人 ②観光タクシー利 用者数 150人 ③割引クーポン利 用者数 200人 | 平成29年3月 | ①97人 ②38人 ③97人 | 運行期間での利用率は 8%であり、周遊バスと しては採算性が厳しく、直 ちに本格運行につなげるこ とは難しいものの、利用 者に対するアンケートでは 回答者の9割が本格運行 となっても利用すると回 答しており、成田空港から 県内観光地への移動手段 として、バスのニーズ自 体は高いものと推察され た。また銚子ルートでは、 期間中全便で574人の乗 車があったが、そのうち 97人が匠市で降車した。 KPI目標値には届かなか ったが、観光タクシーの 運行や、タクシー利用助 成券の配布により2次交 通の充実を図り、市内 観光を促進した。 | 地方創生に効果が あった | なし。 | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り 終了とする。引き続き高 速バスの運行については 運行に向けて検証を重 ねることとし、本市にお いても連携した観光誘 致イベントを行って いく。 |